

## 福祉×NFTアートによる新規プロジェクトの立ち上げ支援を開始

障害のある人と新しい仕事をつくる Good Job! Digital Factory の次なる展開

一般財団法人たんぽぽの家

ケアとアートをテーマに活動を続ける一般財団法人たんぽぽの家(奈良県奈良市)では、2023年4月より、障害のある人たちと取り組むNFTプロジェクト「Good Job! Digital Factory」をスタートしています。

本プロジェクトでは「アートとデジタルの力で、障害のある人とともに、社会に新しい仕事・文化をつくる」というビジョンのもと、障害福祉事業所 Good Job! センター香芝(運営:社会福祉法人わたぼうしの会)と協働し、NFTアート「グッドジョブさん」の制作・販売のほか、オンライン上のコミュニティづくりなど、新しい福祉のあり方を考える取り組みを続けています。



NFTアート「グッドジョブさん」



NFT 勉強会



Good Job! センター香芝



NFT アート制作の様子

## 参加団体を募集、プロジェクト立ち上げを支援

この度、たんぼぼの家では Good Job! Digital Factory の取り組みをさらにひろげていくことを目的に、『福祉×NFT アートによる仕事づくり』の立ち上げ支援事業を行います。

<https://note.com/goodjobproject/n/ne1a0a9a042a0>

本事業では、Good Job! Digital Factory による人的・資金的サポートのもと、障害のある人との NFT プロジェクトに取り組む団体(福祉施設等)を募集し、選考のうえ採択します。

### ○事業概要

採択団体には、Good Job Digital Factory によるサポートのもと、「①NFT アートの発行・販売」「②コミュニティ運営」の2つに取り組んでいただきます

### ○応募条件

障害のある人のアート活動を行っている福祉事業所や団体、障害のある人とデザインやクリエイティブな仕事づくりに関心のある福祉事業所や団体等(法人格の有無は不問。個人での応募は不可)。

経歴は問いません。ブロックチェーンや NFT などに関する知識や経験がないという方にも、1 からサポートを行いますので、ふるってご応募ください。

### ○スケジュール

募集は 6 月 30 日(日)17 時までを締切として、その後のスケジュールは下記のとおりです。

- ①一次審査 7 月初旬 3 団体を決定
- ②訪問勉強会 7 月～8 月
- ③二次審査 8 月中旬 1 団体を決定
- ④プロジェクト実施 9 月～2025 年 1 月

### ①一次審査(書類選考)

応募いただいた内容をもとに、事務局およびアドバイザーで審査を行い、3 団体を選出します。

プロジェクトアドバイザー

- 高瀬 俊明 たかせ・としあき／Toshi(NEORT 株式会社代表取締役)
- 水嶋 輝元 みずしま・てるもと(株式会社日本総合研究所 創発戦略センター マネジャー)

## ②訪問勉強会

選出された3団体のもとに事務局が訪問し、NFT や仮想通貨に関する基礎的な知識や、NFT アートを用いたプロジェクトの可能性について学ぶ勉強会を開催します。また、勉強会後に面談の時間を設け、応募団体がどのような取り組みを実施できるか、聞き取りを行います。

## ③二次審査

勉強会および面談の結果をもとに、あらためて事務局およびアドバイザーで審査を行い、実行団体1団体を選出します。

審査のポイント:下記項目を重視し判断いたします。

- 実施体制などを含めた実現可能性
- 応募いただいたアイデアの先見性や独創性
- 今後の展開の可能性

## ④プロジェクトの実施

「障害のある人にとって新たにどんな仕事生まれるといいのか」「どんな人たちに、どのように関わってもらいたいのか」「どのような NFT アートをつくるのか」などを言語化し、チーム体制をつくり、具体的に形にしながら仕事していきます。

Good Job! Digital Factory

**福祉×NFTアートによる  
新しい仕事づくり  
参加団体を募集!!**

**応募〆切 2024年6月30日(日)17時**

主催:一般財団法人たんぼの家 / 助成:日本財団 Supported by THE NIPPON FOUNDATION

## プロジェクト背景

### ■障害のある人の仕事や福祉に関する課題

- 障害のある人の雇用や就労機会はまだまだ少ない状況です。現状、約 1,160 万人の障害者総数のうち、民間企業・公的機関・独立行政法人に雇用されている人は約 72.8 万人、障害福祉サービスで就労している人は約 44.9 万人、合計で約 118 万人とまだまだ雇用や就労の選択肢を広げる必要があります。[引用\*1、\*2]。
- 障害のある人の仕事は自分の好きなことや個性や創造性を発揮しにくいとされています。
- 障害福祉の現場は関わりづらく、関心をもっていても一個人が関わることは難しいとされています。

### ■福祉×NFT アートを通して実現する今後の展開

- 全国各地の福祉事業所や福祉団体が連携し、デジタル上にも福祉を実現する。
- デジタル上のコミュニティとリアルな現場をつなぎ、多様なかたちで人が出会い、協働することができる。
- 福祉に対して関心をもつ人が増え、だれもが気軽に福祉に関わることができ、一緒に仕事をつくる機会がある。
- デジタル技術を活用した創作の手段と発信の機会に広がりが見られる。
- これまで仕事とわれていなかったようなことが、テクノロジーによって仕事になる。
- 一人ひとりが個性や創造性を、自発的に、協力的に発揮しながら、それを仕事にすることができる。

全国各地の福祉事業所や福祉団体が連携する第一歩として、今回の立ち上げ支援を実施します。

主催：一般財団法人たんぽぽの家

助成：日本財団

## 引用

[\*1] 厚生労働省 令和5年障害者雇用状況の集計結果

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_36946.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36946.html)

[\*2] 厚生労働省 障害者の就労支援対策の状況

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/shougaisahhukushi/service/shurou.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaisahhukushi/service/shurou.html)

## 関連サイト

(1) 「福祉×NFT アートによる仕事づくり」立ち上げ団体募集

<https://tanpoponoye.org/news/goodjob/2024/06/001218501/>

(2) Good Job! Digital Factory 公式サイト

<https://nft.goodjobcenter.com/>

【この件に関するお問い合わせ先】

[会社名] 一般財団法人たんぽぽの家

[部署名] Good Job! Digital Factory 事務局

[担当者名] 小林、岡部

[TEL] 0745-44-8229

[Email] [goodjob@popo.or.jp](mailto:goodjob@popo.or.jp)